

サイバーセキュリティ月間キックオフ・シンポジウム

「費用」から「投資」へ -経営の活力を支えるサイバーセキュリティ-

第21回 企業IT動向調査2015(14年度調査) ～データで探るユーザー企業のIT動向～

2015年2月2日

一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会

常務理事 浜田達夫

企業IT動向調査2015(2014年度調査)の概要

アンケート調査

定点観測＋重点テーマ
14年11月に実施

- ・ユーザー企業IT部門4000社対象 24P
有効回答:1125社(回答率28%)

インタビュー調査

重点テーマ中心に
14年11月～15年1月に実施

- ・ユーザー企業IT部門長:50社

調査委員会、調査部会
による分析

JUAS調査の特徴

- ・94年度以来過去21年間継続して実施、
経年変化をふまえた分析
- ・アンケートとインタビューの複合効果
- ・年度別に、重点テーマを設定

今回の重点テーマ

- ・転換期に求められる
IT部門の役割とは

調査報告

2015年3月発表予定

<IT投資で解決したい中期的な経営課題>

「業務プロセスの効率化(省力化、業務コスト削減)」と「迅速な業績把握、情報把握(リアルタイム経営)」が二本柱

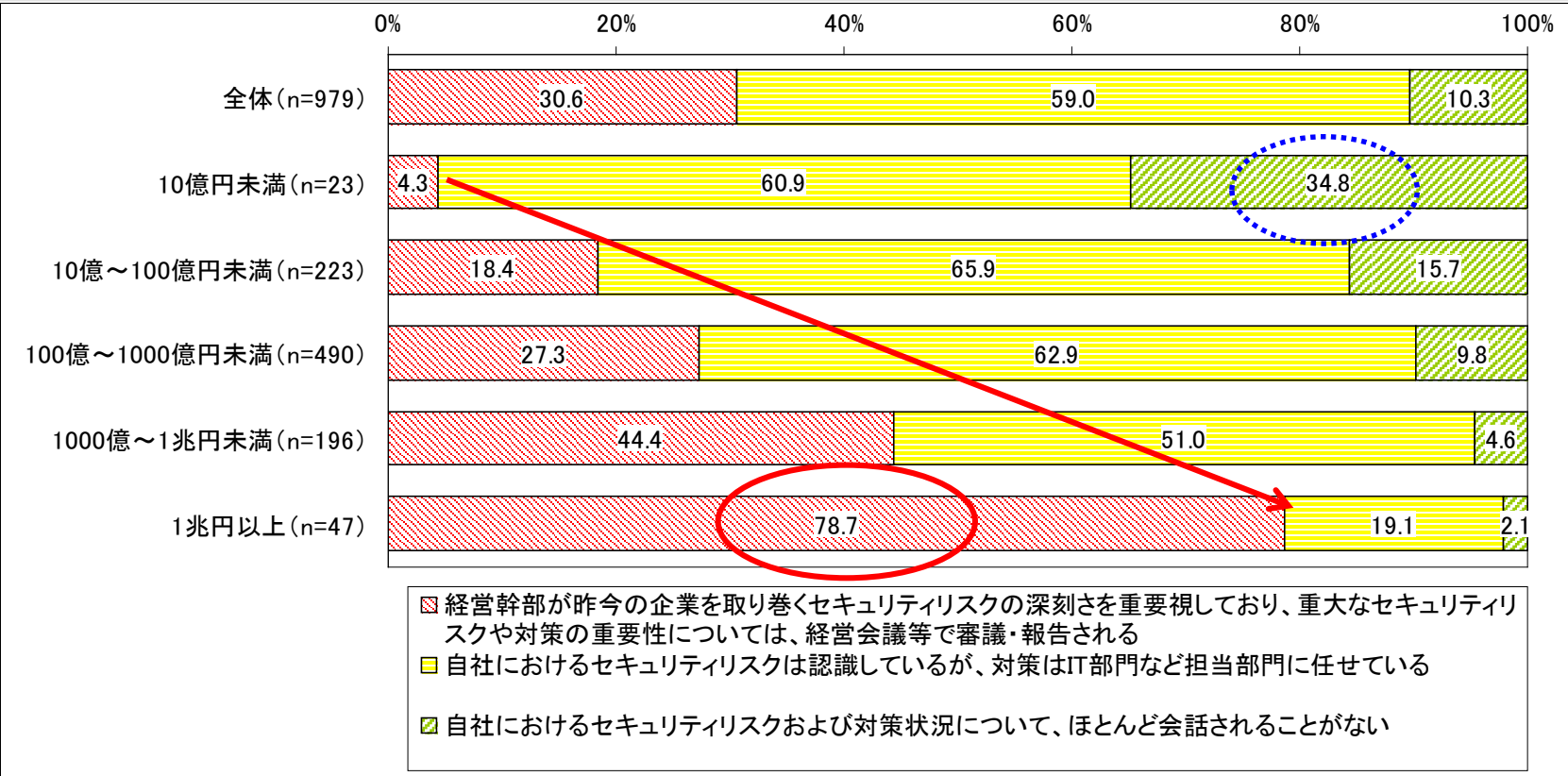
IT投資で解決したい中期的な経営課題 (1~3位)

- ・優先度が最も高いのは、業務プロセスの効率化と迅速な業績・情報の把握という情報システムの本質的な役割に関わる二つが挙げられており、これは例年変わらない。
- ・第二グループに、営業力の強化という経営課題の解決に直結することが登場する一方、IT開発・運用のコスト削減が挙げられることに注目したい。



<セキュリティと経営との関係> 会社規模が大きいほど、経営陣の関与する割合が大きくなる。売上高10億円未満では全体の3分の1が現場任せのセキュリティ対策となっている。

売上高別 セキュリティと経営との関係



<情報セキュリティ人材>8割の企業ではセキュリティ人材は不足と認識。 充足している企業は1割程度である。大きく不足する人材を今後、 どのように確保するかが課題

情報セキュリティ人材 現状の過不足状況

